

## 多機能型で熱中症・感染症対策

NKE

既存設備への「れんら君」シリーズ  
後付けIOT

NKE(社長＝中村道一氏、本社・京都市伏見区)は、すべてのモノがインターネットにつながるIOTを既存設備に後付けできる簡易情報連絡端末「れんら君」シリーズを提案している。医療

・介護福祉分野に対しては、空気環境・温湿度状態の傾向分析、状態の改善を促す注意喚起用途で需要を見込む。熱中症・感染症の発症を未然に防

いだり、薬品の保管品質を維持したりする目的で同端末の機能を役立てたい意向だ。

一昨年来、飲食店の空気環境を可視化する用途で「れんら君」シリーズの多機能タイプ「CO<sub>2</sub>れんら君」の採用実績が拡大している。「CO<sub>2</sub>れんら君」は室内のCO<sub>2</sub>濃度をセンサーで連続的に測定し、モニター画面に表示させる端末。温湿

度状況を同画面に表示することもできる。これらの環境測定数値から想定される換気量不足、熱中症・感染症の発症リスクに対する警戒レベルを示し、警報を発報することが可能。データロギング機能を有しているため、室内空気的安全・安心を担保するための見守り用途で活用できる。

設置方法は空気状態を可視化したい場所に本体を据え付け、LAN回線やHDMIケーブルを用いてパソコンやモニターに接続するだけ。測定データをパソコン、スマートフォン、タブレット端末などの表示画面で確認できる。「病院・クリニックなどの待合室やロビー等に設置される採用数も徐々に増えている」(営業部営業支援グループ)という。

「れんら君」シリーズの他用途では、出力付きアナログタイプの「れんら君」と温度センサー、湿度センサー、電流センサーなどの各種センサーを組み合わせて使用することで、病室内の温湿度管理、ワクチン・試薬等の冷凍保管庫の温度管理など、さまざまな現場管理をIOT化できる。医療現場で働く職員の多忙な業務の効率アップを図ることが可能になる。